



令和6年12月19日
No.115

社協だより



令和6年度 サロンフェスティバルを開催しました



11月29日(金)、大田市民会館にてサロンフェスティバルを開催し、139名の方にご参加いただきました。本事業は、市内の介護予防サロンをはじめ、これまでサロンに関わりをもつ機会がなかった方や、新たにサロンの立ち上げを検討されている方を対象に実施いたしました。当日は、市内のサロン14団体の皆さんが製作された作品の展示や、男の料理教室(長久町)の皆さんによる豚汁の提供、体力測定コーナーなど、各ブースが大賑わいでした。参加された皆さんからは「とても

楽しかった」、「他のサロン団体の活動を知ることが出来てよかった」など、たくさんの感想をお寄せいただきました。サロン関係者以外の方の参加も多くあり、サロンの魅力を知っていただく良い機会になりました。



大田市社協HP QRコード

発行 社会福祉法人 大田市社会福祉協議会 大田市大田町大田イ128
本 所 (0854) 82-0091・温泉津支所 (0855) 65-3950・仁摩支所 (0854) 88-4421
<http://www.ohda-shakyo.jp>



大田市社協 Fb QRコード

キャラバン・メイト研修を行いました

|| キャラバン・メイトについて ||

大田市地域包括支援センターでは、認知症に関する相談窓口として、また認知症啓発活動などに取り組んでいます。

地域で暮らす認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を育成する「認知症サポーター養成講座」の講師役である「キャラバン・メイト」を養成します。

大田市に登録されているキャラバン・メイト（以後、「メイト」と称します。）は、令和6年9月末現在131名おり、今年度新たに地域包括支援センターの職員4名が研修を受講し、メイトに加わりました。

また、令和6年9月にメイトのうち約30名が集まり、認知症に関する正しい理解や国の動向などを確認し、今後のサポーター養成講座に活かすための勉強を行いました。



認知症サポーターとは

- 認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る支援者として、自分のできる範囲で活動します
- 自分自身の問題と認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です
- 認知症サポーター養成講座を受講すれば、どなたでも「認知症サポーター」になれます。受講された方には、受講証（カード）を交付します



大田市

全国キャラバン・メイト連絡協議会



私は認知症サポーターです。

介護や福祉に関する相談や介護予防教室、認知症サポーター養成講座の依頼等、お気軽にご相談ください。



お問い合わせ先 社会福祉協議会 地域包括支援センター

大田市大田町大田イ128番地 大田市民センター2階
電話：0854-83-7766 FAX：0854-83-7767
時間：月曜日～金曜日 8:30～17:15



ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます
(令和6年10月・令和6年11月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

香典返し寄付

大田 内藤 幸雄 野々村 勝
山根 美江子 横手 由利子
和 田 哲郎 和 田 一也

遠藤 美佐子 上 田 博文
堀川 貴美子 山 本 清

川 合 修嗣

志 学 孝子

富 山 貞夫

波 根 大介

久 手 辰夫

長 久 元之

静 間 達雄

五十 猛 作雄

久 利 光子

水 上 千鶴

祖 式 馨

温 泉 末長

仁 摩 久雄

出 雲 智子

森 脇 勝利

東京 都 猛

大田 山崎 幸雄

山 根 美江子

和 田 哲郎

遠藤 美佐子

堀川 貴美子

川 合 修嗣

志 学 孝子

玉串料返し寄付

池田 村田 明美

以上、645,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブも多数いただきました。

食品・学生服等の寄贈

大田 皆田 絹代

川 合 千葉 ひろみ

波 根 加藤 正子

長 久 細田 哲也

温 泉 小川 和邦

寺 本 功子

和 の 会

仁 摩 山根 厚子

花 田 文代

池田地区文化祭参加者

福波地区社会福祉協議会

他多数の方々に協力いただきました。

令和6年度全国社会福祉協議会会長表彰

● 民生委員・児童委員功労者 温泉津町 林 至 様

令和6年度全国民生委員児童委員連合会会長表彰

● 永年勤続民生委員・児童委員表彰

大田町 小田 時通 様
山口町 亀谷 恵隆 様
長久町 居石 純子 様
五十猛町 古和 嘉人 様
仁摩町 松浦 美幸 様

川合町 生越 雅子 様
山口町 大國 一津美 様
富山町 鳥笥尾 博 様
温泉津町 森田 修二 様

おめでとうございます。益々のご活躍をお祈り申し上げます。



学生服等再活用事業を通じて 「子どもの就学支援」をしませんか！



子育て家庭の負担軽減、そして資源の有効・循環利用を推進することを目的として、「譲っていただける方」から「譲ってほしい方」への橋渡しをする取り組みです。

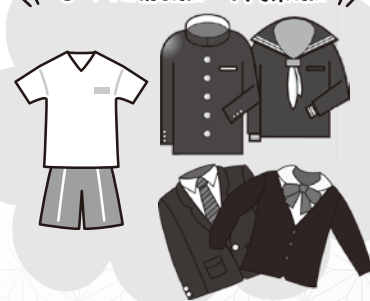
ご卒業などで不用となった学生服等を無償で提供いただき、必要とされる方に活用していただく「学生服等再活用事業」をしています。

提供いただいた学生服等は、子どものいる世帯への就学支援に活用させていただきます。

回収対象／大田市内の小・中・高校及び近隣高校の制服、体操服

※痛みや汚れが少なく着用に堪えられるもので、上下揃わなくても構いません
(クリーニング済み、または洗濯済みの清潔な状態の物をお願いします)

卒業や成長して不用になった制服・体操服



回収

社会福祉協議会

保管

引き渡し

制服等を準備することが難しいご家庭へ



※引き渡しにあたり、社会福祉協議会で生活などの状況を確認させていただきます。

ご家庭に眠っている食品 大募集！

フードバンク事業へのご協力のお願い

ご家庭で眠っている食品を募集しています。

ご寄贈いただいた食品は、生活に困窮している方、福祉施設・団体に無償で提供します。

募集している食品は、常温保存可能で賞味期限が1ヶ月以上ある食品（お米、乾麺、乾物、缶詰、インスタント食品等）です。



リウマチ友の会「こだまの会」

会員・ボランティアさん募集しています！

私たち「こだまの会」は、リウマチ当事者6人、先生1名、ボランティアさん7人の計14人で、絵手紙づくりやリウマチ体操、七夕やクリスマス会といった季節の行事等を通して交流しています。

月2回の定例会では、コーヒーを飲みながら語り合ったりして、和気あいあいとした雰囲気が流れています。私たちと一緒に活動してくださる当事者の方、活動をお手伝いしてくださるボランティアの方を募集しています。見学からでも結構ですので、一緒に活動してみませんか？

リウマチ友の会
「こだまの会」
絵手紙作品ギャラリー
▼(社協HP内)



【開催日時など】

毎月第2・第4火曜日

午後1時半から3時半まで

(詳しい日程はお問い合わせください)

【場所】大田市民センター1階機能訓練室

問い合わせ先：中田文子(82-0835)まで

◆ 防災・減災の取組み ◆

災害時のボランティア講座

復興に向けてボランティアさんの存在は大きな力になります。

今回は、これまで大田市で発生した災害について触れながら、災害時のボランティア活動で大切な視点や役割を共有しました。



※次年度も実施予定



災害ボランティアセンター設置訓練

比較的規模の大きな災害が発生した際には、災害ボランティアセンターが設置され被災者とボランティア活動者をマッチングする機能を担います。

いざという時にスムーズにセンターを設置し活動するために、役割や機能の共有と実際に想定したロールプレイを、関係機関や住民の皆さまと行いました。

※次年度も実施予定



島根県西部地震から6年企画～みんなで備える 防災カフェ～

島根県西部地震の教訓を生かすために毎年企画を変えて開催しています。

今回はアレルギー配慮の啓発を兼ねて防災食の試食や災害ケースマネジメントの啓発、関係機関の展示などを行いました。

特別企画として、能登半島地震についても触れ、現地の様子などを共有しました。

※次年度も企画を変えて実施予定



シニアクラブ 情報局

催し

お知らせ

募集

温泉津福祉大会

ご報告

令和6年10月11日(金)、温泉津まちづくりセンター大ホールにて開催しました。幸村卓己氏により「今すぐできる災害への備え」、田原厚子氏により「悪質商法と特殊詐欺の手口の紹介」の講演をいただき大変参考になりました。



令和6年度 囲碁大会

令和6年10月24日(木)に大田市民センター1階で、囲碁大会(A級B級C級混合)を行いました。

優勝は大田ことぶき会の田原勝さん、準優勝は長久オールドクラブの天谷浩さん、3位は久利寿会の石田正寛さんになりました。来年度より、一般参加をより多く募集いたします。



仁摩福祉大会

ご報告

令和6年11月7日(木)、仁万農村環境改善センターにて高野朋美氏による「大切な人との関係がみるみるよくなる幸せを呼ぶ魔法の技術」と題しご講演をいただきました。また仁万保育園による和太鼓演奏、あじさいの会による演劇で大変盛り上がりしました。



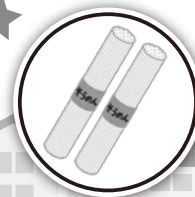
第6回まめなかいしまねグラウンドゴルフ大会 成績

10月23日(水)、出雲ドームにて県大会が行われ65チーム270名が参加されました。大田チームは30位以内が2チーム、個人では100位以内に入られた方が5名いて、久利寿会の見戸新三郎さんが最高齢者で表彰されました。皆さん人工芝に苦戦を強いられて、大変だったみたいです。



島原麵(そうめん)ご協力のお礼

今年度も、ご協力いただき誠にありがとうございました。還元金につきましては、連合会の自主財源の一部として、各種事業の一助とさせていただきます。



今後の行事予定

〔芸能大会〕

令和7年2月7日(金)
大田市民会館大ホール

〔福祉展〕

令和7年3月1日(土)・2日(日)
大田市民センター4階

ずっとつながる



(事務局)

大田市シニアクラブ連合会

〒694-0064 大田市大田町大田イ128番地
TEL 0854-84-0266
FAX 0854-82-9960
月曜日・木曜日 8:30~17:00(祝日休)

ホッとつながる

「衣類ドライブ(冬物)」を開催！

たくさんのご協力・ご来場ありがとうございました(^^) 

古着を回収し、無料のバザーで必要な方に提供する『衣類ドライブ』を開催しました。今回は冬物衣類を延べ129名の方々にご提供いただきました。その衣類を11/24～11/26の期間で大田市民センター 1 階和室にて提供させていただきました。

バザーは延べ245名の方にご来場いただき、たくさんの衣類の中からお好みのものを楽しそうに探される様子や、他の来場者の方と談笑される様子が見られ、参加や交流の機会としても大変ご好評をいただきました。

来年度の開催については、現在未定ですが、開催が決定いたしましたら、本紙や本会Facebook・LINEで周知いたします！

移動介助ボランティア養成講座を開催しました！

10/6 車いす移動介助ボランティア養成講座、11/16 視覚障がい者移動介助ボランティア養成講座を開催しました。

本講座は、障がい者の社会参加への理解を深め、修了後は移動介助ボランティアとして活動していただくことを目的として開催しているものです。

車いす移動介助ボランティア養成講座では、大田市身体障がい者福祉協会の山田一暁氏、ボランティア活動者の田中正治氏を講師に迎え、日常生活での体験を交えたお話や車いすとリフト付き自動車の操作演習等をご指導いただきました。受講者のみなさんからは「様々な視点をもつことや、細かい配慮や声かけが大切だとわかった」、「車いす体験が十分にできた」という感想をいただきました。



視覚障がい者移動介助ボランティア養成講座では、大田市視覚障がい者福祉協会の瓜坂節子氏、島根県西部視聴覚障害者情報センターの柳井喜代臣氏、ボランティア活動者の川島和美氏を講師に迎え、視覚障がいについての解説や当事者及びボランティアの体験談をお話いただきました。演習ではアイマスクをつけ、館内外で歩行体験や音響信号機の体験等を行いました。受講者のみなさんからは「相手のことを思う気持ち、安心してもらうことが大事なことだと思った」、「今後も多くの方が講座に参加することで、障がいのある方の支援につながると思う」という声をお寄せいただきました。



また、両日ともウェルネス大田中央店にご協力いただき買物体験を行いました。店内では車いすやアイマスクを交代で付け、普段とは違う姿勢や視点で商品を手に取りレジで精算するなどして、コミュニケーションを取りながらサポートすることがとても大切だということに改めて気づかされました。貴重な体験ができ、今後の実践に活かせる学びの場となりました。

講座修了時には多くの受講者の方にボランティア登録をしていただきました。みなさま、ご参加ご協力いただき、ありがとうございました。